

刈谷駅周辺エリアプラットフォーム

未来ビジョン

－ Ver.0 －

刈谷駅周辺エリアプラットフォーム

Index

1. 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム未来ビジョンとは
2. 刈谷駅周辺の現況
3. エリアの未来像
4. エリアのまちづくり方針
5. ビジョンの実現に向けて



1 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム未来ビジョンとは

市民・地域団体・企業・行政が一丸となって実現する刈谷駅周辺の未来の姿です。

■ 未来ビジョンの目的

刈谷駅周辺におけるまちの回遊性向上やにぎわい創出等の目指すべき将来像を描き、実現に向けたロードマップや取組を定め共有することを目的としています。

■ 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム（計画主体）

刈谷駅周辺エリアプラットフォームは、官民で連携し、エリアビジョンの策定及び継続的なまちづくりに取り組むことで、刈谷駅周辺の回遊性向上やエリア価値の向上を図ることを目的に、計19の地元団体や企業による会員により構成され、令和7（2025）年12月に設立しました。



1 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム未来ビジョンとは

■ 未来ビジョンへの想い

未来を見据えて、みんなの想いをつなげて、進めていきます。

秀島 栄三 先生

名古屋工業大学

／エリアプラットフォーム全体会統括



4回の全体会を経て、今私たちは構想を実現へと移す重要な局面を迎えています。刈谷駅周辺エリアプラットフォームを成功させる原動力は、「楽しむ心」です。その楽しさは、議論を重ね、アイデアを絞り出すという苦労の先にあるものです。

誰を巻き込み、いかに協力体制を築くか。その一つひとつのプロセスは決して容易ではありませんが、これこそがまちづくりの醍醐味です。この刺激的な挑戦を、皆さんとともにできることを心から楽しみにしています。

成田 光宏 氏

特定非営利活動法人まちづくりかりや



刈谷駅周辺エリアプラットフォームの事務局として、皆さまの一人ひとりの想いをつなぎ、確かな形に変えていく役割を担いたいと考えています。多様な人や企業が集うこの地だからこそ、一人では思いつかないような創造的な挑戦ができるはずです。私たちの目標は、「勤務先だから刈谷にいる」という現状から「このまちが好きだから刈谷にいる」という人が多いまちへと進化させること。一人ひとりの愛着がまちの地価を高め、持続的な発展につながると信じています。皆さんとともに、刈谷の未来へ向けた大きな夢を掲げられることを楽しみにしています。

1 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム未来ビジョンとは

■ 未来ビジョンへの想い

未来を見据えて、みんなの想いをつなげて、進めていきます。

佐藤 布武 先生

名城大学

/カリマチ会議



今永 典秀 先生

Co-Innovation University



私は「刈谷型」という独自のまちづくりを追求することが大切だと考えています。このまちには世界的な企業が集まり、そこで働く人々や生活する人、子育て世代など、多様な人々がともに暮らしています。そうした多様な人たちが自然に集い、つながることのできる場をつくることは、まちの未来にとって不可欠です。

—この取り組みに携わるメンバーや企業だけでなく、客観的な視点を持つオブザーバーの方々も交え、全員で知恵を出し合う。それこそが、刈谷らしいまちづくりの姿ではないでしょうか。

刈谷駅周辺エリアプラットフォームが立ち上がり、刈谷市に住む人々や関係者が立場の違いを超え、数十年後に自分の家族や子どもたちに自慢できる、誇れる、楽しいまちを実現するために考え始めました。

刈谷市は人や企業の多いまちですが、組織をまだいまだ交流は決して多くありません。だからこそ、この機会を活かし、自分の常識にとらわれず、手を取り合って進んでいく必要があります。互いに学び合い、支え合いながら、刈谷市の未来を共創していきましょう。

1 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム未来ビジョンとは

■ 未来ビジョンへの想い

※令和7年度 第4回全体会における会員によるアクション宣言より

新規顧客の発掘や出店支援を目的とし、朝市を行っています。その経験から、イベント時には、周囲の店舗が積極的に参加したくなるような環境づくりが必要だと考えています。

沿線のまちづくりに携わっており、他市においてもエリアプラットフォームに関わっているため、事例共有などできる限りの協力をさせていただきたいと思います。

長年、刈谷駅周辺のパトロールを行ってきました。今後も「花いっぱい運動」に協力していきたいと思います。また、関係のある店舗から協力を得られるように話をしたいと思います。

企業として社会課題の解決に取り組んでいます。各団体・企業・個人の声をまとめるのは難しいと思いますが、その中で、企業として何ができるか考える場にしていきたいと思います。

学生や教員の力を地域に役立てるコーディネートをしています。これからも、学生と地域の「やりたい」を繋いでいきたいと思っています。

ハードの整備で終わらず、周辺に連鎖するにぎわいづくりが大切だと思います。そのため、線で繋がる開発を目指していきます。

2 刈谷駅周辺の現況

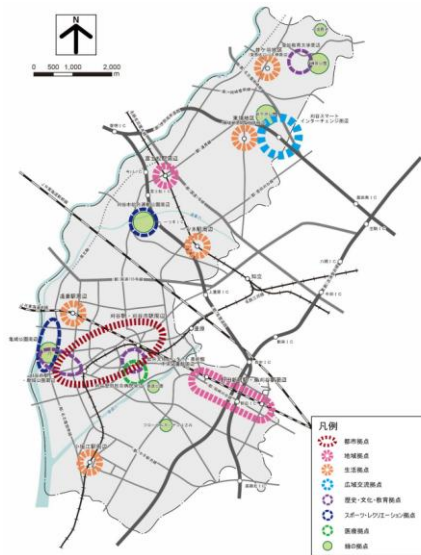
■ 刈谷駅周辺の位置づけ

刈谷駅周辺エリアは、回遊とにぎわいのある魅力的な都市空間の創出を目指す都市の拠点です。

第4次刈谷市都市計画マスタープラン

刈谷駅周辺は、名古屋市の南東約25kmに位置する刈谷市の交通・商業の中核で、JR東海道本線と名鉄三河線が交差する利便性を背景に、近年の再開発と官民連携で都市機能・交流拠点化が進む中心市街地です。

刈谷駅周辺は、「都市拠点」位置付けられ、商業施設やオフィス、住宅のほか医療・福祉、文化施設などの様々な都市機能の集積を図り、**魅力的な都市空間の創出を目指す**としています。



刈谷市中心市街地まちづくり基本計画

刈谷駅周辺は、都心交流ゾーンに位置付け、「人を引き寄せる、回遊とにぎわいのあるまちづくり」を目指すとしています。これまでに、「カリマチストリート」の整備や「刈谷駅北口地区」の市街地再開発事業等が行われており、今後も、「南北連絡通路」や「刈谷駅北口駅前広場」等の整備が検討されています。



2 刈谷駅周辺の現況

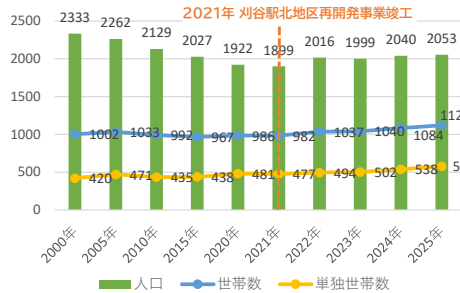
■ エリアの特徴

刈谷駅周辺エリアは、昼夜を問わず多くの人が生息し、様々な目的地となる施設が分布しています。

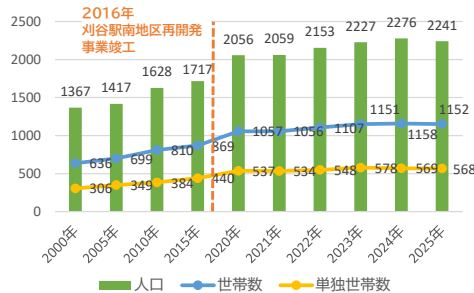
■ 人口構造

- ・ 駅北側、南側ともに市街地再開発事業を契機として人口増加傾向にあります。
- ・ 周辺の市町に比べ刈谷市の昼夜間人口比率は高く、昼間人口が多いのが特徴です。

人口・世帯数・単独世帯数の推移
(北側:桜町・中山町・相生町)

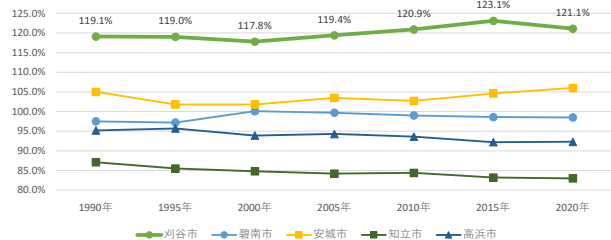


人口・世帯数・単独世帯数の推移
(南側:神田町・南桜町・若松町)



出典 統計情報

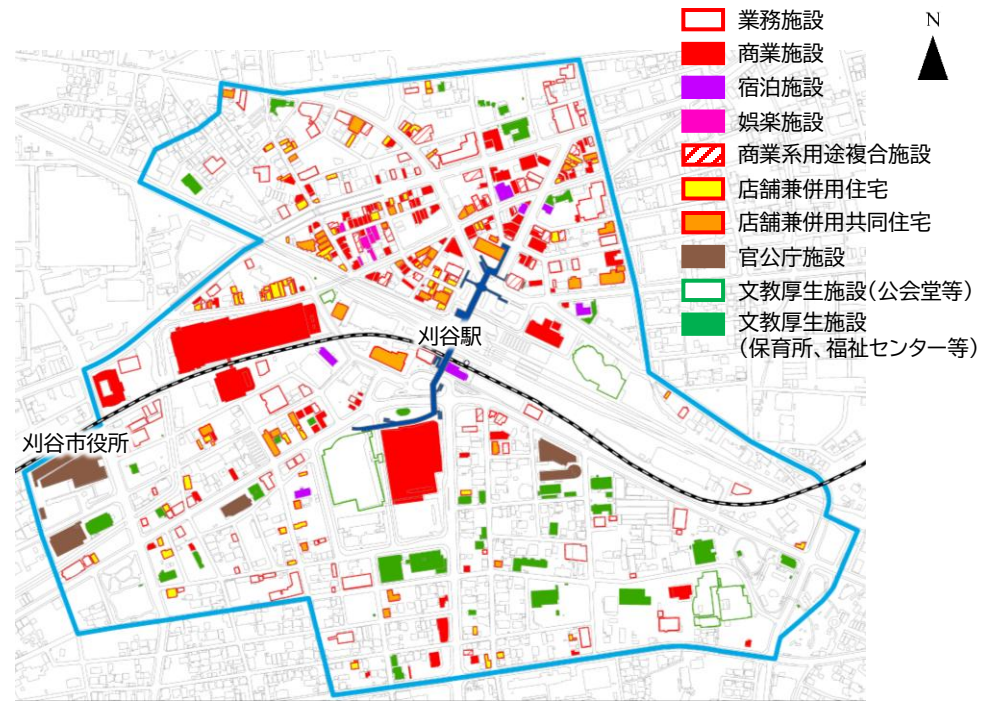
昼夜間人口比率の推移



出典 刈谷市

■ 施設分布

- ・ 駅北側には小規模な商業施設や店舗が、駅南側には大型商業施設や官公庁施設が多く分布しています。



施設の分布状況

(出典)都市計画基礎調査

2 刈谷駅周辺の現況

■ 刈谷駅周辺の現状

人が滞在する場面が少なく閑散とし、安心して生活できる居心地の良さが薄れている状況です。



商業店舗(にぎわい)の連続性がない



屋根のある広場は日中は利用者が少なく閑散としている



まちなかにゴミが落ちている



チェーン店が増加し、まちの個性を感じとれない



屋内に滞在できるスペースが少ない



デッキの下部は薄暗く、放置された自転車があり近寄りづらい



親水空間は老朽化に伴い、愛着ある場所になり得ていない



憩いに適した空間が活用されていない

2 刈谷駅周辺の現況

■ まちの声

これまでのまちづくり活動を通じて、エリアに対する様々な課題感が、声としてあがっています。

活気

- 季節行事のイベントを開催したい
- きたくる広場のステージは、比較的自由に使用できる
- 日中に人が歩いていない
- 若い世代が楽しめない
- 気軽に入れるお店がない

居場所

- 駅から徒歩圏に行政施設・商店街がある
- 休日に若い世代が増えた
- 多世代交流の場が必要
- 長い時間を過ごす滞在できる場所がない
- 公共空間を使えることが認知されていない
- 勉強ができる場所が少ない

子育て環境

- 子連れ世帯が増えている
- 児童遊園など子ども向けの施設がある
- 自分の育った地域に愛着を持って欲しい
- 家族で来られる場所がない
- 子育て世代が戻って来られる場づくりが必要

生活環境

- ゴミ問題が発生している
- 環境が悪化している
- トイレが汚い
- 芝・花・噴水などの自然が少ない

防犯

- 治安が悪くなっている
- マナーが悪い人がいる
- 街灯が少ない

安全

- 連絡橋により施設をスムーズに移動できる
- 横断歩道が少ない
- 段差が多い
- バリアフリー化が進んでいない

ビジネス

- 最先端の企業が集まっている
- 大きなスーパーマーケットがある
- 個人店が参入できない
- チェーン店が多くなった
- 商店街の存続

移動

- 公共交通が充実している
- バスの走行状況がわかる電子掲示板がある
- 高齢者が駅まで行くためのモビリティ整備が必要
- 駐輪場が混雑している
- 横断歩道が不足している

2 刈谷駅周辺の現況

■ これまでのまちづくり活動等

公共空間の活用や施設運営を中心にして、人と人がつながる場や機会が増えつつあります。

刈谷駅周辺における課題感を解決するために、公園や道路などの公共空間の活用(社会実験)を積み重ねています。また、地域住民の交流拠点となる施設の整備・運営やイベントの実施を行っています。



カリマチストリートの活用



大手公園の活用



南桜街園の活用



みなくる広場の活用



きたくる広場の活用



スペースAquaの整備



KariCoCoの運営



カリアンナイトの実施

3 エリアの未来像

参加者の想い

- みんなで一緒に、、、
- 共にチャレンジをしていきたい
- 未来を見据えて、、、

現状

- | (+)プラス | (-)マイナス |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">• まちに多くの人がいる• 訪れる場や機会がある• 課題解決に向けた活動が始まっている | <ul style="list-style-type: none">• 人の顔が見えない• 生活する上での安心感がもてない• 居心地の良さを感じない |

刈谷駅周辺における課題を解決し、30年先の未来を見据えるまちの姿


■ 目指す未来の姿

想いがつながり いつでも みんなの笑顔がみえる まち




3 エリアの未来像


■ 目指す未来の姿（妄想）



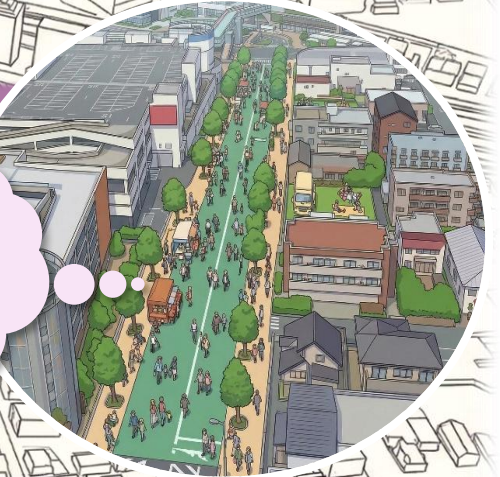
芝生のある広場で、たくさんのアクティビティができて一日中過ごすことができる！



アート×飲食×体験型イベント等の特定のターゲットに響くコンテンツを企画して実施！



まちなかで子どもが遊ぶ姿が見ることができ、親同士の交流も自然と広がる！



エリア内のどこに行くにしても、安心して快適に移動できる！

4 エリアのまちづくり方針

にぎわいを育む仕掛けづくり

- 公共空間等の既存の資源を有効に活用します。
- 地域の魅力やイベント情報等について情報発信を継続的に行います。
- ターゲットを明確にした活動を実施して、まちを訪れる機会を増やしていきます。



■ 全体会等での意見

- ・ 市民方が出店するイベントの開催
- ・ 地域の方と連携したイベントの開催
- ・ 街中にアートを散りばめる
- ・ コンテンツをまとめ意味をもたせる
- ・ ターゲットを考える
- ・ 情報発信も力を入れていきたい
- ・ SNSを上手く使いこなす
- ・ 無駄がないのは面白い

実施予定

■ アクションプラン

刈谷駅周辺花いっぱい運動(仮)

南桜外園やアクアモールなど商店街の道路などに、きれいな花を植えて、気分良く歩けるまちなみをつくることを検討しています。また、道路に落ちているごみを少なくするため清掃活動などを行い、清潔で気分の良くなる歩行空間を維持することに努めていきます。



4 エリアのまちづくり方針

憩いと滞在を促す空間づくり

- 誰もが安心して利用でき、憩うことができる場を作ります。
- エリアに来訪した人が、滞在して時間を過ごすことができるように、多様なコンテンツを確保します。
- 子どもが遊ぶことができる場所を確保し、親同士の交流や子育て支援情報のネットワークを広げます。



■ 全体会等での意見

- 緑あふれるまちにしたい
- 集える場所やリラックスできる場所が欲しい
- フラットに入れる場が少ない
- 多人数で集まれる場がない
- 子どもが走れる芝生広場
- ゆっくり話して滞在できるカフェ
- だらだら過ごせて話せる場所
- 使いやすい広場

■ アクションプラン

カリマチストリートにおける滞在空間の試行

きたくる広場やカリマチストリートをより居心地の良い空間にするため、その活用方法を募集するアイデアコンペを開催したり、実際に椅子を置いてみる試み(パブリックチェア・プロジェクト)を行うなどして、にぎわいを育むプロジェクトを試行しています。



継続して
実施予定

4 エリアのまちづくり方針

移動を快適にする空間づくり

- 駅と目的地を結ぶ歩いて楽しい歩行空間づくりを支援します。
- 歩行者デッキ等の快適性を高めるための案内やルールづくりを検討します。
- エリア特性に応じた次世代の移動手段の実証について支援します。



■ 全体会等での意見

- 駅まで行くためのモビリティ整備が必要
- 徒歩圏に行政施設・商店街がある
- デッキにより歩きやすくなった
- 子どもと車の接触が危険
- バス・車が横断歩道で止まることによる渋滞発生
- 駅と大学が遠くバスの本数が少ないため利用しづらい
- 刈谷ならではの次世代モビリティ
- 点と点が繋がっていない

■ アクションプラン(案)

検討中

4 エリアのまちづくり方針

安全・安心な環境づくり

- 誰もが安心してエリア内を移動することができる環境を確保します。
- 犯罪がなく、いつでも安心して暮らすことができるように、まちを見守る仕組みを整えます。
- 災害時の避難対応等、日頃から地域の連携を高め、互いに支え合うコミュニティを育みます。



■ 全体会等での意見

- ・ 子どもを安心して連れて来れるまちにしたい
- ・ 安心して暮らせるまちにしたい
- ・ 安心して歩けるまち
- ・ 警察とまちが一体となってまちを守る
- ・ いかに滞在してもらうか
- ・ 障がいのある方でも安心して入れるお店
- ・ まちの人との情報交換
- ・ こども110番登録が少ない状況

実施予定

■ アクションプラン

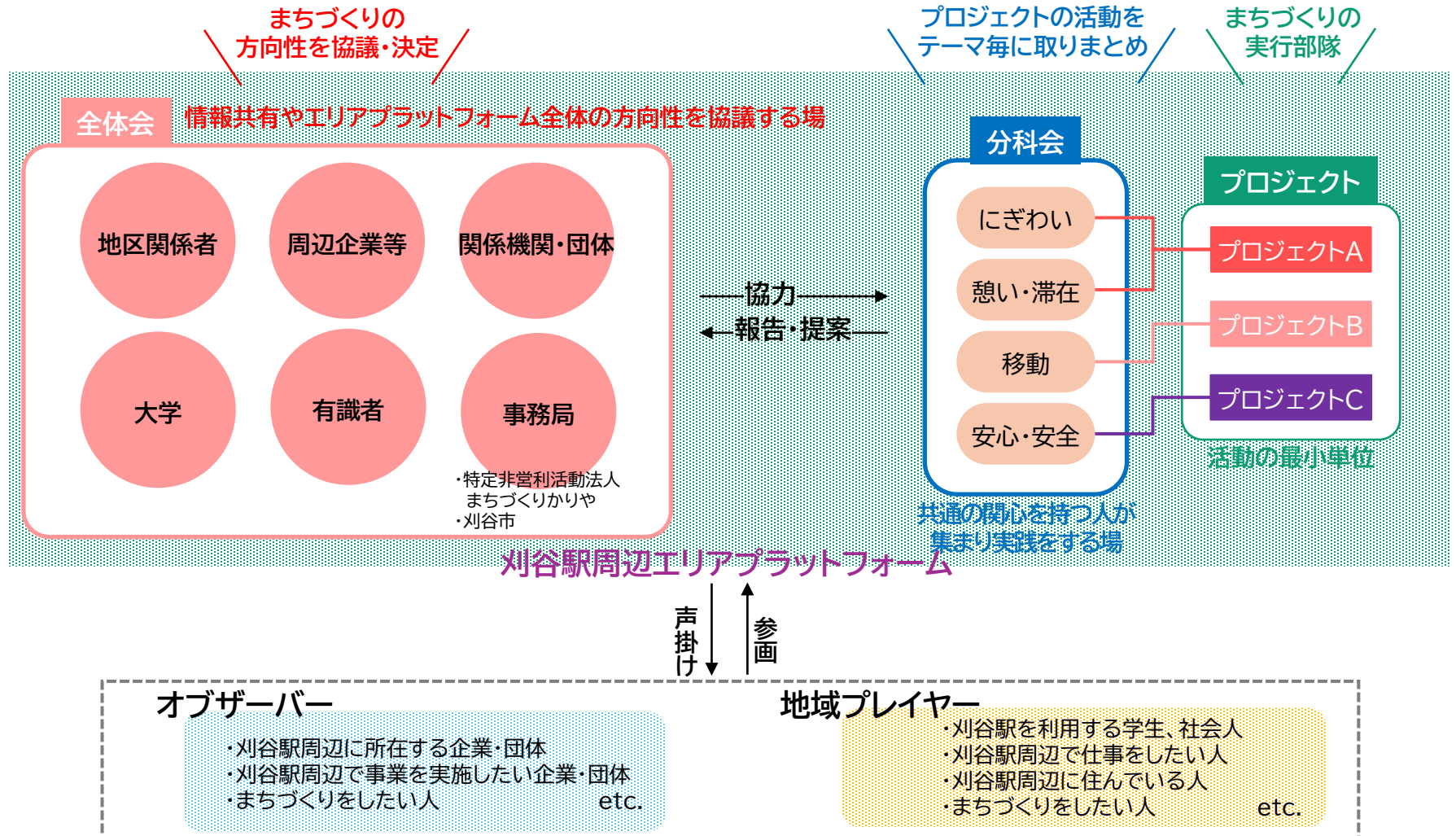
障がいのある方も とけ込めるまちへ(仮)

障がいのある方が暮らしたり、楽しんだり、働いたりという日常生活に自然ととけこめるまちづくりを目指し、まずはアンケートを行いビジョンを作りながら、イベント開催や交流会など様々なアクションを起こしていく予定です。



5 ビジョンの実現に向けて

エリアビジョンの実現に向けて、今後もまちづくりの方向性を協議する全体会とまちづくりの実行部隊であるプロジェクトとその活動をまとめるテーマ別の分科会を軸として、相互に連携・協力を図りながら、まちづくりの実践を進めていきます。



5 ビジョンの実現に向けて

この未来ビジョンver.0は、刈谷駅周辺エリアプラットフォーム設立時点における意識共有を図り、今後の取組に向けた出発点として位置づけるものです。

次年度以降は、分科会を中心に、まちの課題に対する具体的なアクションを段階的に実施するとともに、活動の輪を広げながら、課題解決に向けた効果を検証する試行的な取組を重ね、ビジョンをより高次なものへと発展させていくことを見据えています。

R7年度

R8年度以降～



愛称「カリぷら～刈谷駅らへんでぷらぷらしてみりん～」



刈谷駅周辺エリアプラットフォーム未来ビジョン ver.0

作成日 | 令和8年3月作成

作成主体 | 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム

事務局 | 特定非営利活動法人まちづくりかりや

刈谷市都市政策部まちづくり推進課